

【1年】

各教科共通

- ◎自己で選択・決定・調整できる授業を行い、主体的な児童の姿をめざしていく。
- ◎読み解く力（6つの領域）を土台とした授業を構成する。
- ◎教科書分析を行い、言葉にこだわり、「読むこと・書くこと・話すこと」の時間を重視する。

国語

■児童の状況	○平仮名、カタカナの学習が終わり、それらを用いて文を書こうと努力している。 ○練習を積むことで、音読はできる児童が多い。 ●平仮名の読み書きは、定着している児童としていない児童の差が激しい。 ●促音、拗音、長音の理解が十分でない。そのため、文章を書く力が弱い。
■指導についての課題	・正しく文字や文を書くことの指導 ・語彙を増やす指導
■授業改善に向けての具体的な方策	・めあてや学習の過程を明確にし、振り返りとの一体化を図る。 ・視写や1ページ作文等、文字や文を書く機会を多く設け、平仮名の読み書きの定着を確実なものにするとともに、文章を書く力を付ける。 ・促音、拗音、長音の表記については、プリント等を用いて定着を図る。

算数

■児童の状況	○ほとんどの児童は、10までの繰り上がりなしの足し算、繰り下がりなしの引き算の計算問題はできる。 ●文章題の演算決定や、答えの書き方につまずいている児童がいる。
■指導についての課題	・文章題の読解 ・繰り上がり・繰り下がりでの定着
■授業改善に向けての具体的な方策	・めあてや学習の過程を明確にし、振り返りとの一体化を図る。 ・具体物やカードやブロック等を用い、文章題をイメージできるようにする。 ・文章題のキーワードや数字に線や印を付けさせ、問われている問題の意図を理解できるようにする。 ・ホワイトボードを多用し、簡単な絵や図をかくことで、文章題をイメージさせ、立式から答えを出すまでの自己解決力を育てる。

生活

■児童の状況	○植物の生長を楽しみにし、意欲的に世話をしている児童が多い。 ○発芽や開花等の植物の生長の様子に、目を向けることができている。 ○2年生や6年生などのかかわりを楽しんでいる児童が多い
■指導についての課題	・観察カードや振り返りカードに書く内容を明確にし、取り組むようにすること。 ・地域と関連させた単元の開発
■授業改善に向けての具体的な方策	・めあてや学習の過程を明確にし、振り返りとの一体化を図る。 ・書く内容や振り返りの観点を明確にし、短時間で書けるようにする。 ・地域に目を向けることができるような単元を開発する。

体育	
■児童の状況	○体を動かすことは好きで、意欲的に活動する。 ○ルールを守って取り組む姿が多く見られる。
■指導についての課題	・児童主体の学習過程の定着 ・ゲーム領域の学習の流れの理解
■授業改善に向けての具体的な方策	・運動が得意、不得意に関わらず、楽しむことができる学習内容を提示する。 ・自分達で考え自主的に活動ができるよう、学習の過程を組んでいく。 ・多様な動きを高める運動や体づくり運動などを取り入れ、運動の楽しさをさらに味わえるようにする。

特別の教科 道徳	
■児童の状況	○1時間の道徳の授業の中で、ねらいに達成する児童は多い。 ●発問に対して思いや考えはもてるが、発言まで至らない児童もいる。
■指導についての課題	・道徳的価値の大切さに気付かせる発問の設定 ・思考が深まらない児童への支援と配慮 ・道徳ノートの活用
■授業改善に向けての具体的な方策	・具体的なめあてを提示し、授業の流れをイメージできるようにする。 ・教科書の内容をしっかりと理解させてから、発問の解決に取り組むようにする。 ・発問に対する自分の考えを、必ず道徳ノートに書き込んでいくようにする。 ・季節や時期、行事等に関連させた題材を取り上げることで、自分事として考えをもてるようにする。